

# ●冬枯れに光さす枝先に感じる春の兆し

●香る花、色彩豊かな紅白梅を眺め、春の気配を探るひとときを

冬の寒さが残る2月、公園の民家園前の斜面（御所の梅林）では、梅の花が見頃を迎えます。冷たい風に揺れる可憐な花々は、春の訪れをいち早く感じさせてくれます。公方公園には赤い梅と白い梅が植えられ、それぞれ異なる美しさを楽しめます。赤い梅は、鮮やかな色合いが目を引き「①紅梅」と、落ち着いた深い赤が特徴の「②大盃（おおさかずき）」があり、紅梅は小ぶりの花が枝先に密集し、明るく華やかな印象を与えます。一方、大盃はやや大きめの花で、上品で風格のある佇まいが魅力です。白い梅は「③白加賀（しろかが）」と「④南高梅（なんこううめ）」があります。白加賀は透明感のある純白の花が咲き、清々しい美しさが際立ちます。南高梅はやや丸みを帯びた花びらが特徴で香りも楽しめます。2月の寒さの中、一足早く咲く梅の花で春の兆しを堪能してみたいはいかがでしょうか。



① 紅梅



④ 南高梅

### 梅の小話

中国から伝わった梅は、平安時代までは桜よりも愛され、「花」といえば梅を指しました。また、万葉集には梅を詠んだ歌が、約120首も収録されています。

## ○公園名所案内 「古河総合公園管理棟」 内藤廣氏設計

建築家、内藤廣氏が設計した⑤古河総合公園管理棟は、自然と調和した建築が特徴です。小川をまたぐように配置された建物は、地域の風土や文化を尊重しながらシンプルで機能的な構造となっています。建物には木材が多用され、低層の水平ラインが公園の景観を損なうことなく引き立てています。また、自然光や通風を活かした環境配慮型の設計が施され、訪れる人々が快適に過ごせる空間を提供しています。管理棟は案内や休憩所の機能を果たしつつ、公園の自然美と調和した建築としても注目されています。内藤氏の「環境との調和」を追求した建築哲学が表現された古河総合公園管理棟は、公方公園を散歩する際は、ぜひ注目して欲しい建築物です。



⑤古河総合公園管理棟

## ○2月の花と花穂・蕾のご紹介 ⑥パンジー ⑦ネコヤナギ ⑧コブシ

⑥スミレの交配種、耐寒性があり、冬でも元気に花を咲かせる貴重な花です。  
⑦ヤナギ科、早春に花穂は銀色の猫の尻尾のような柔らかな毛を付け、それが名前の由来となっています。  
⑧モクレン科の落葉高木、枝先に白い毛の生えた蕾をつけ、桜と共に春先に大きな白い花を咲かせます。



⑥パンジー



⑦ネコヤナギ



⑧コブシ

## 2月の鳥【カケス】

スズメ目カラス科カケス属に分類されるカケスは、体長約33cmと少し大きめの野鳥です。雄雌同色で、鮮やかな青と黒の羽模様が美しく、その鳴き声は「ジェーイ」や「ジェイジェイ」としゃがれたやかましい声で森の中でもひととき目立ちます。雑食性のカケスは、昆虫類や果実、種子を幅広く食べるほか、秋になるとどんぐりを集めて土に埋めたり、落ち葉の下に隠したりする「貯食行動」を行います。この貯えたどんぐりは、冬の間の食料となります。しかし埋めた場所を忘れることもあり、どんぐりの一部は芽を出し、やがて新たな木々となります。こうした行動が森の再生や生態系の維持において重要な役割を果たしています。



★カケス

### ★古河公方公園公式アカウントを開設しました！

是非みなさまフォローをよろしくお願いいたします。

- Instagram @koga\_kubou
- X (旧 Twitter) @kubou\_park

Instagramアカウント



X (旧Twitter) アカウント

